

令和6年度北海道市町村職員政策研修会（第2回）

これからの地域運営を考える

— 地域の自律運営に向けた行政の役割 —



人口減少が進むなかで、地域に住み続けることが難しくなっています。

これからも地域に住み続けるためには、どういう仕事をすべきなのか、

誰が担うのか、行政と地域住民の関係はどのようにあるべきか、

さまざまな視点や事例とワーク体験から考えていきましょう。

R6.11.12（火） 11:00 - 17:00

北彩都ガーデンセンター（旭川市）

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
公益財団法人 北海道市町村振興協会

令和6年度北海道市町村職員政策研修会（第2回）

これからの地域運営を考える

— 地域の自律運営に向けた行政の役割 —

R6.11.12（火） 11:00 - 17:00

北彩都ガーデンセンター（旭川市）

プログラム

パネルディスカッション「実践事例から見る行政と地域の役割分担再編」

- 事例1 北海道における地域運営組織の実践例（幌延町）
- 事例2 事業づくり支援の視点（道総研）
- 事例3 インフラ管理の視点（道総研）
- 事例4 インパクト思考の公民連携で地域課題を解決する潮流（ソーシャルセクターパートナー・すくらむ）

- トーク：役割分担再編の考え方や具体的な方法論について

ワーク体験 行政の仕事の棚卸ワーク体験

立食懇親会（ソフトドリンクのみ）

参加について

対 象 道内市町村職員、まちづくり会社等地域運営を実践している方
1市町村（団体）あたり2～4名程度 合計定員30名

参加料 無料

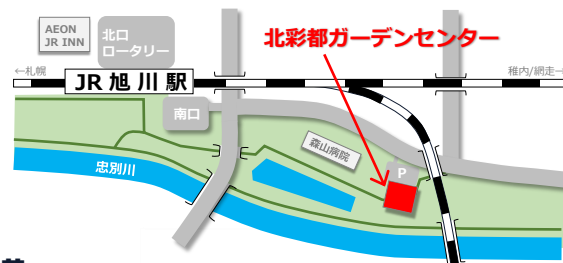
申込み 詳しくは北海道市町村振興協会のHPをご覧ください
（開催要領及び参加申込書を掲載）

https://do-shinko.or.jp/dl_training/

【締切 8/23（金）】

※定員に達し次第締め切らせていただきます

会場は駐車台数に限りがあるため
公共交通機関の利用をお勧めします
（JR旭川駅より徒歩5分程度です）



主 催

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
公益財団法人 北海道市町村振興協会

後 援

北海道、公財）はまなす財団、環境省北海道環境パートナーシップオフィス

